

高齢者施策の一部をご紹介します

就労など生きがいのある暮らしへの支援

● シルバー人材センター

60 歳以上の方が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献する組織です。会員になると新しい仲間ができ、年金以外の収入が得られます。また、日帰り旅行やグラウンドゴルフ大会もあります。新規会員は随時募集中で、市内3地区で入会説明会を開催しています。

● 老人クラブ

概ね 60 歳以上の方が自主的に集まって活動する組織です。安心して暮らすために、身近な仲間と支え合いながら、地域づくりを進めています。入会は各単位クラブへお申し込みください。

見守り体制の充実に関する支援

● 緊急通報システム設置事業

急病や災害時など緊急時の対応を容易にすることを目的とした事業です。緊急事態における不安を解消するとともに、相談対応や定期的に安否確認の電話を行っています。



対象者 65 歳以上の高齢者、高齢者のみの世帯、障害者手帳をお持ちの方等

費用 無料（課税世帯は年額 3,240 円）

● 緊急医療情報キット配布事業

かかりつけ医療機関、持病など、緊急時に必要な情報を保管するキット（情報を記入するシートや、シートを入れる容器など）を配布します。

費用 無料

● 高齢者見守りステッカーの配布

徘徊などのおそれがある高齢者の情報を事前に登録し、登録者には、番号が記載された蛍光ステッカーを配布します。ステッカーを靴や杖に貼っていただき、捜索時における早期発見や安全確保に役立てるものです。

費用 無料

移動に関する支援

● 福祉タクシー運行事業（利用料 無料）

65 歳以上の高齢者や障がいのある方々の交通手段を確保するため、10 人乗りのジャンボタクシーを運行しています。ご自身で乗り降りができる方が対象となります。

● チョイソコしぶし（利用料 1 回 200 円）

利用者自らがコールセンターに予約し、目的地の公共施設や事業所（スポンサー）停留所まで運行する事前予約型の乗合送迎サービスです。

※ 総合政策課などで事前の会員登録が必要です。

食の確保に関する支援

● 食の自立支援事業・配食支援事業

食の確保が困難な高齢者などに対して、毎日の食事を提供し、利用者の安否確認を行う事業です。希望に応じて、おかずのみの配食も可能です。利用者負担金を事業者に支払う必要があり、事前に申請も必要となります。

費用 1 食あたり 350 円～ 600 円

在宅家族介護者などへの支援

● 介護手当支給事業（対象要件あり）

要介護 4・5 の認定を受けている方などを在宅で介護している方に対し、介護手当を支給します。事前に民生委員による在宅確認を行った上で、申請が必要です。

支給額 月額 1 万円

● 家族介護用品支給事業

要介護 4・5 の認定を受けている方などを在宅で介護している家族（非課税世帯）に対し、紙おむつなどの介護用品と引き換えができる介護用品券を支給します。こちらも、事前に民生委員による在宅確認を行った上で、申請が必要です。

支給額 月額 5 千円

※ この他、ごみ出し困難者やごみ分別困難者に関する支援もあります。詳しくは、市民環境課 環境政策グループまでお問い合わせください。

Tel 472-1111（内線 239）



「自宅で快適に暮らすために」
現在私は、一人暮らしをしています。夫が亡くなって今年の 7 月で 20 年が経ちました。時折、子どもたちが帰省することはありますが、単身生活はもう 20 年以上となります。今月で 90 歳になります。

（手に持っているペンダントを指し）このペンダントのボタンを押すと、緊急通報となります。緊急通報システムを設置していて、見守ってもらっています。テレビと連動したシステムも設置しているため、私が朝起きてテレビを見るときで、事業者さんは私が起きたことを確認していると思います。冷蔵庫には、緊急医療導入キットも入れています。かかりつけ医療機関や家族の連絡先など書いた紙が入っていますよ。扉に目印となるシールも貼ってあるので、救急隊の方も気づいてくれると思います。



食料品などは、市内の移動スーパーを活用しています。家まで来てくれるんですよ。だいたい買い物はできるので大変助かっています。移動に関してはチョイソコしぶしもぜひ活用しましたよ。昨年骨折した影響で、今は歩行器を使用しているため利用できていませんが、通院などでお世話になりました。現在は、かかりつけの先生が往診に来てくださっていますので、安心した生活を送ることができます。

「周りの支援に感謝」
私は、これまで食生活改善推進員や地域の高齢者サロンの代表などを務めてきました。そのときのメンバーや友人たちが送迎や見守りなど、さまざまな支援をしてくれました。大変ありがたいです。周囲の支援に感謝して、このまま一生自宅で暮らし続けたいです。

「これからも生きがいを求める」
先日は、子や孫たちが卒寿祝いの機会を設けてくれました。にぎやかな時間で、私も元気が出ました。私はこれからも「今日やると決めたことはその日のうちに必ずやる」。このことを貫いて生活しようと思っています。今日は何をしようか、明日は何をしようか。考えることが楽しみです。今日はいろいろ話を聞いてくれてありがとう。楽しかった。これからも近くに来ることがあったら、立ち寄って声をかけてちょうだいね。

いつも志布志警察署に提供し、交通安全運動に役立てていただいています。
私は、人生でやり残したことはないと思っています。これまでに色々な経験をすることができましたから。それも、周囲の皆さんの支えがあったからだと思います。

